

六小・富士便り

開校55周年

国立市立国立第六小学校

校長室便りNo.19 令和8年(2026年)3月25日

令和7年度、卒業式が終わりました！

令和8年3月25日(水)の本日、令和7年度の卒業生を送り出すことができました。

保護者の皆様、地域の皆様、この1年間、本当にありがとうございました。本日、卒業式を終え、令和7年度を修められたことに、心から感謝申し上げます。

昨年の4月からの1年間ではありますが、本当に、たくさんの出来事があり、これまでの教員人生の中でも、忘れられない1年となりました。また、同じ市内で、同じ職のまま異動することは、これまで一度もありませんでしたので、初めての経験となりました。

その中で、六小の子供たちや教職員の皆さん、地域や保護者の皆さんとの出会いを通して、自分が異動してきた意味をずっと考えてきました。何を大切にし、何を創り上げていくのか。

前任校の七小においても、同じように考え、取り組みましたが、この六小での取組は、これまでの教員人生で培った全部の力を総動員するくらいに、やり甲斐のある毎日になっています。

元気の塊の子供たち、その中で、自分を出し切れない子供たちもいました。また、一生懸命に苦手に挑戦する子供たちがいるかと思えば、なかなか頑張れない子供たちもいました。先生方においても、新しい体制の中で、どのように学校運営をすることが大切なのか、どう子供たちと向き合い、成長を図っていくのかなど、日々、悩み、挑戦し、自分の力を高めていく姿も多く見ました。

更には、地域の皆様や保護者の皆様の六小への思いや学校への期待に対して、お応えしていくことの難しさなど、多くの場面で、私自身のこれまでの在り様を試されているような日々でした。

今日の卒業式は、今年度の区切りであり、節目です。学校というところは、毎年度、この節目を越え、新しい一歩を踏み出します。しかし、その土台は、毎年毎年の日々の取組の積み重ねの中にある、令和8年度は、令和7年度を土台として、積み上げていくこととなります。

その卒業式の子供たちの姿は、令和7年度の一つの答えです。また、教育という取組の答えは、10年後、20年後と時を経ていく先にあるとも言えます。これからも、未来を見据えながら、六小の教育活動を展開してまいります。そして、多くの宝の卒業生を送り出していきます。

卒業生は、未来の宝です。これからも、見守り、成長と活躍を祈り続けていきたいと思っております。今年度、本当にお世話になりました。本当にありがとうございました。

【校長のつぶやき】 今年度の校長室便りは、今回の19号で終了となりました。読んでいただいていることをお聞きするたびに、嬉しい思いと共に、できるだけ分かりやすく、お伝えしたいことや知っていただきたいことなどの学校理解や私自身をご理解いただくことに努めてきました。

来年度においても配信をしてまいりますので、これからも、お読みいただけましたら、有難いところです。また、すぐ一読での配信では、文字の大きさ等の読みづらさがあることも聞いております。

紙ベースが欲しい方がいらっしゃいましたら、学校までお知らせください。学校便りと同じように、紙ベースのものも用意したいと思っております。

